

課題改善カリキュラム【 社会科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
資料から読み取り、自分の考えを述べることを苦手とする。		児童・生徒の関心を引き出しつつ、資料を読み取る力を育成するための指導の工夫について		
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点	
中学校	3年	・「日本の年代別投票率」や「世界の国別投票率」など、現代社会(日本)の課題を読み取ることに加えて、どのような対策をすればよいか、自分の考えをもてるような資料を用いる。	・多面的・多角的に諸資料を考察するために、個人で読み取ったことや考えたことを発表し合いクラスで共有する。	
	2年	・日本の様々な地域の地理的特色や近世以降の時代の特徴について、資料をもとに多面的・多角的に考察するとともに、資料のどの点から読み取ったかや、根拠を明らかにし、文章や言葉で表現することができる。	・少人数グループやクラスで読み取ったことの発表を行い、自分になかった視点や資料の違った側面に気づかせる。	
	1年	・世界の様々な地域の地理的特色や中世までの時代の特徴について、いろいろな資料を、いろいろな角度から多角的・多面的に読み取り、その読み取ったことから、自分の考えをまとめ、意見として発表ができる。	・授業で資料を読み取る時に、いろいろな人の意見を参考にできるように、数人のグループで意見交換を必ず行う場面を設定する。	
小学校	6年	・資料の読み取りでは、グラフや図など、複数の資料から読み取れるポイントについて確認する。	・複数の資料を比較して見たり、合わせて見たりすることで、自分の考えをもたせる。	
	5年	・歴史や政治について、地図や地球儀、年表などの複数の資料から読み取りを行い、自分の考えをもつことができる。	・自分と友達の考えの同じ点や違う点について比較して考えさせる。	
	4年	・日本の工業生産について、地図や地球儀、資料などから読み取ったことから自分の考えをもつことができる。	・児童にとって、身近で具体的な資料を扱い、地域の社会的事象を考えさせる。	
	3年	・地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や具体的な資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現できる。	・資料を読み取る視点「いつ、どこで」「人、もの、こと」「広がり」「数量」「比べる」「つなげる」等押さえる。	